

進路だより

札幌伏見支援学校もなみ学園分校
令和5年10月27日発行 NO.3



係活動をとおして…

教頭 田 中 昌 行

早いもので、第2学期が始まってからちょうど2か月になります。2学期が始まったころは、これまでの北海道では考えられなかった、連日30℃を超える気温でした。暑さ対策のため、普段は明けないような扉や排煙口などいたるところの窓を開け、コロナ対策で購入してあった業務用のサーキュレーターをフル稼働しても気温は下がらず、冷たいものをこまめに飲んだり、ときにはアイスなど学習のご褒美として食べたりしながら、暑さの中、学習活動を継続してきました。暑さ対策につきましては、保護者の皆様にもいろいろとご協力していただきありがとうございました。

この夏は特に多かったと思いますが、職員室で仕事をしていると、職員室の冷蔵庫にある麦茶を取りに、小学部の児童が先生と一緒に入ってきます。ドアを開けてペコッと頭を下げ「失礼します」と言ってから入るよう教えてもらっていますが、先生と子どもたちの様子を見て、微笑ましく思うことも多くあります。4月から続けて取り組んでいると、徐々に自分でできることが増え、先生からの支援も徐々に減ってきて、自分であいさつをしてから冷蔵庫にいき、麦茶の入ったポットをもって、「失礼しました」と伝えて教室に戻ることができるようになった子もいて、成長が感じられる一場面を見ることができています。こうした、お茶を取りに行く活動は、学級の係活動として行われています。活動の内容については、お子さんに合わせたもの、もしくは、できるようになると期待できることに取り組んでいると思います。係活動をすると、担任から褒められたり、同じクラスの友達から必ず「ありがとう」と感謝されたりします。そうすると、活動をしてきた子はうれしい気持ちになることでしょう。感謝される、もしくは褒められる経験を積み重ねることにより、子どもたちの自信にもつながってきます。自信が持てると、さらにほめてほしくて自分から進んで行おうとするようになっていきます。こうして職員室にいても、子どもたちがすすんで取り組んでいる姿を見るとうれしく感じてしまいます。

学校での係活動は、小学部、中学部、高等部とで、内容が異なることがあります。児童生徒一人一人に合わせて取り組まれて行きます。係活動をとおして達成感、成就感を味わうとともに、主体性を育むことへとつながります。また、児童生徒の成長に伴い、技能的な内容に取り組むこともできてきます。一つの活動から、子どもたちの限らない可能性が広がることを期待しています。

〈高等部 1、2 年生 現場実習の様子〉

1年生

今年度の高等部1学年の現場実習は、10月2日から6日までの日程で行われました。ほとんど全員が無事に体験や見学をすることができました。今年度は北ノ沢デイセンター、青空や、チョコかわぞえ、南成園にお世話になりました。

今回はチョコかわぞえでの1日体験実習の様子をお伝えします。

主な活動内容としては、古本のクリーニングとアクセサリ作りをさせていただきました。古本のクリーニングでは、ハケで1ページずつ丁寧にゴミを取り除きながら破損・汚損を確認する体験をしました。アクセサリ作りでは、自分の好きな装飾を選びながらアクセサリを作るという体験をしました。緊張しながらも実習ということで学校では見せないような集中力を発揮し、継続して作業をすることができました。生徒にとって、とてもよい経験をさせていただいたと思います。

2年生

6月12日から7月7日までの日程で現場実習が行われました。昨年度までは感染症の影響で、実習が延期や中止になることもありましたが、今年度は生徒17名全員が事業所や施設での実習に参加することができました。実習先ではパン作りや農作業、製品の仕分けやゴミの分別など、いつもと違う環境の中、学校ではできない体験や活動に懸命に取り組んでいました。また利用者の方々と話したり、誕生日を一緒に祝ったりと、普段学校だけではなかなかできない貴重な経験をさせていただきました。ここでの経験を一人一人が将来に繋げていけるようにしていきたいと思います。

用語を知ろう▶▶▶「移行支援事業所」

一般企業への就労を希望する方を対象としている。一般就労のために必要な能力の向上を目指し、施設外実習や職場探しなどを通じて適性にあった職場への就労につなげる事業を、概ね2年のプログラムで展開している。

プログラムの内容としては、事業所によって変わってくるが、就労継続支援事業所のように委託作業などを取り入れながら、ビジネスマナー、社会生活技能訓練、パソコントレーニング、グループワークなどのメニューの他、職場見学・実習、書類作成のアドバイスや模擬面接なども行っている。

工賃については、就労のためのサポートや訓練を受けることを本来の目的としているので原則的には支払われない。ただ、札幌市の現状を見ると、委託作業などに携わることで工賃が発生しているところも多い。

就労継続 B 型事業所を卒業と同時に利用するために必要な就労アセスメントも行っているが、現在南区には移行支援事業所はない。

学校祭「高等部販売会」

今年度は10月21日(土)に小中高合同で行われる「学校祭」の一環として「高等部販売会」が開催されました。販売会では高等部の作業学習で製作した様々な製品を販売しました。紙すきを中心に行う「リサイクル班」では紙を加工してメモ帳やノート、カレンダーなどを製作しました。また、縫工作業を中心に行う「手芸班」では花ふきんやシュシュ、ビーズストラップなどを、「エコワーク班」は不要になった木製本棚を解体し、その廃材を使用して鍋敷きやフォトフレームなどを製作しました。リサイクル班のカレンダーは挿絵に生徒の絵を載せているのですが、どの絵が良いか生徒達自身が投票し、決定した絵です。また販売会場の装飾やポップも生徒達が制作した作品です。プレ販売会には小中学部の児童生徒や学校職員の方々、そして販売会当日も保護者や地域の方々がたくさん来てくださり、生徒達は自分たちが作った製品が目の前で売れていくのを見て喜びややりがいを感じていた様子でした。また、卒業生がお世話になっている事業所「いるば」「鶴の郷」「青空や」「もいわサポートセンター お菓子工房 NOIX (ノワ)」の販売も初めての試みで、こちらも大盛況でした。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

準備万端!あとはお客様を迎えるだけ。頑張るぞ!でもちょっぴり緊張・・・



販売会場に懐かしい顔。温かい交流の場所にもなりました。



プレ販売会で練習したので、本番でも接客バッチリです。



さすが3年生は接客も落ち着いてできました。



会計は「レジスタディアプリ」や電卓で。間違えないように真剣です。



「いらっしゃいませ。」おすすめの商品も伝えることができました。



沢山の皆様で大繁盛でした。完売の商品も続々と出てきました。



事業所さんのお店もお客様が途絶えることなく、人気でした。



生徒会活動で看板作りにも取り組みました!

